

国土強靱化地域計画 むつ市リスクシナリオマップ（下北半島全域図）



想定されるリスク

【リスク1】地震・津波災害

＞＞ 設定リスク：発生しうる最大クラスの地震

現在の知見で考え得る最大規模の地震を想定

| 想定地震 | 地震規模 | 地震の概要 |
|-----------|-------------|---|
| 太平洋側海溝型地震 | マグニチュード 9.0 | 1968年十勝沖地震及び2011年東北太平洋沖地震の震源域を考慮し、青森県に最も大きな地震・津波の発生を想定した地震。 |
| 内陸直下型地震 | マグニチュード 6.7 | 「青森湾西岸断層帯の活動性及び活動履歴調査で推定された入内断層帯の海底活断層を震源として想定した地震。 |

＞＞ 被害想定：むつ市の避難者数は最大1万人規模

最大で1万人規模の避難者に対応する備えが必要

想定地震「太平洋側海溝型地震 マグニチュード 9.0」

| 市町村名 | 最大震度 | 全壊棟数 | 死者数 | 避難者数(直後) |
|------|------|---------|---------|----------|
| むつ市 | 6強 | 1,800棟 | 990人 | 10,000人 |
| 下北地域 | 6強 | 3,600棟 | 1,910人 | 17,000人 |
| 県全体 | 7 | 71,600棟 | 47,000人 | 182,000人 |

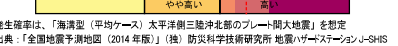
※出典：「H26.11 青森県地震・津波被害想定検討委員会」

(参考) 今後30年以内に震度6以上の揺れに見舞われる確率

今後30年以内での発生確率9.6%は「高い」と評価されています。

| 30年発生確率 | 50年発生確率 | 最近活動時期 |
|---------|---------|--------|
| 9.6% | 50.3% | 45.6年前 |

<30年確率の評価>



【リスク2】暴風雪・大雪災害

＞＞ 設定リスク：国道279号が全面通行止めとなる暴風雪

通行止めの危険がある「警戒レベル」を超える暴風雪を想定

- 注意レベル：大雪や吹雪による交通障害に注意すべきレベル
 - 警戒レベル：大雪や吹雪により大規模な交通障害が予測されるレベル
- 「注意・警戒レベル」の超過発生頻度

| 過去30年間の発生頻度(※) | 注意レベル | 警戒レベル |
|----------------|-------|-------|
| 1~2回/年 | 2回/年 | 1回/5年 |

※4地点(むつ、近川、横濱、野辺地)の気象庁データ(1982年~2011年)に基づく平均値

＞＞ 被害想定：国道279号が寸断され、むつ市が孤立

平成24年2月1日に発生した大雪被害(図示「A」区間)

- 野辺地町有戸~むつ市大曲間の約39kmが19時間半にわたり全面通行止めとなり、約400台の車両が立往生となった。また、代替機能を持たない単一路線であったことが救助(復旧)作業の大きな障害となった。

【対策】青森県による国道279号の冬期安全対策

◎冬期交通障害予測システムの運用開始(平成24年12月~)

県では、国道279号の野辺地町~むつ市間を3分割し、各区間の降雪量・吹雪量を予測する「冬期交通障害予測システム」の運用を開始。視程障害の発生レベルを「注意レベル」「警戒レベル」の2段階に設定するとともに「24時間先予測」を採用。

◎システム運用のポイント(想定外への備え)

予測値が「注意レベル」「警戒レベル」を超えた場合、人命の保護を最優先に考え、維持管理者や関係自治体への迅速な注意喚起を促すとともに、監視体制、除排雪体制の早期対応を図ることを目的としています。県から寄せられる情報提供を基に、当市においても市民への注意喚起や監視体制、応援体制の強化を図っています。

(参考) システム運用後の発生頻度状況

過去30年実績を上回る頻度で発生。大規模な交通障害発生の可能性が高まっています。

| 発生頻度(実績) | 注意レベル | | 警戒レベル | |
|----------|-------|----|-------|----|
| | H24 | 2日 | H25 | 2日 |
| | 2日 | 2日 | 1日 | 1日 |

※出典：県「国道279号冬期交通障害予測システム」データ

拡大図範囲



【事象】災害による通行止め発生状況

＞＞ 東日本大震災による浸水・通行止め区間

| 番号 | 路線名 | 区間 | 延長 | 開始時間 | | 終了時間 | |
|----|--------------|-----------|---------|------|-------|-------|-------|
| | | | | 日 | 時 | 日 | 時 |
| ① | 国道279号 | 野戸~甲 | 約19.0km | 3月1日 | 15:30 | 3月12日 | 21:20 |
| ② | 国道338号 | 尾崎~尾崎 | 約4.4km | 3月1日 | 15:30 | 3月13日 | 10:10 |
| ③ | 国道338号 | 平野~高瀬川第2橋 | 約4.8km | 3月1日 | 16:15 | 3月13日 | 12:00 |
| ④ | 国道338号 | 高瀬川第2橋~川目 | 約16.9km | 3月1日 | 16:15 | 3月13日 | 13:30 |
| ⑤ | 国道338号 | 川目~川目 | 約6.8km | 3月1日 | 16:10 | 3月13日 | 13:30 |
| ⑥ | (主)八戸石巻線 | ~川目~野辺地 | 約4.6km | 3月1日 | 16:00 | 3月13日 | 15:00 |
| ⑦ | (主)八戸石巻線 | 野辺地~浜名谷 | 約3.0km | 3月1日 | 16:00 | 3月13日 | 16:30 |
| ⑧ | (主)八戸石巻線(経線) | 白根~青森島 | 約1.9km | 3月1日 | 16:50 | 3月14日 | 17:30 |
| ⑨ | (主)八戸石巻線 | 白根 | 約1.4km | 3月1日 | 21:40 | 3月13日 | 16:30 |
| ⑩ | (一)天ヶ島三沢線 | 天ヶ島~谷地 | 約3.7km | 3月1日 | 16:40 | 3月13日 | 12:00 |
| ⑪ | (一)青森下野辺線 | 青森谷地~野辺地 | 約2.6km | 3月1日 | 16:00 | 3月13日 | 13:30 |
| ⑫ | みちのく有料道路 | 全線 | 約21.5km | 3月1日 | 22:05 | 3月12日 | 16:00 |
| ⑬ | 東みちのく有料道路 | 全線 | 約9.7km | 3月1日 | 4:30 | 3月12日 | 16:00 |

＞＞ H24.2.1 大雪被害による通行止め区間

| 番号 | 路線名 | 区間 | 延長 | 開始時間 | | 終了時間 | |
|----|--------------|----------------|---------|------|-------|------|-------|
| | | | | 日 | 時 | 日 | 時 |
| A | 国道279号 | 野辺地町有戸~むつ市大曲 | 約39.9km | 2月1日 | 21:00 | 2月2日 | 16:30 |
| B | 国道279号 | むつ市女宿~新野辺橋 | 約7km | 2月1日 | 21:00 | 2月2日 | 13:40 |
| C | 国道338号 | 東通村下野辺地内 | 約6.5km | 2月1日 | 21:00 | 2月2日 | 5:30 |
| D | (注)むつ恐山公園大規模 | むつ市2号支線内 | - | 2月1日 | 21:00 | 2月2日 | 10:20 |
| E | (主)むつ東通線 | むつ市中央IC~東通村新野辺 | 約10km | 2月1日 | 21:00 | 2月2日 | 14:30 |
| F | (主)川内佐井線 | むつ市川内町家~豆地内 | - | 2月1日 | 21:00 | 2月2日 | 22:40 |
| G | (主)長久大津線 | むつ市長久地内 | - | 2月1日 | 21:00 | 2月2日 | 2:00 |

- 【津線網】
- 高規格幹線道路(供用中)
 - 高規格幹線道路(事業中)
 - 高規格幹線道路(計画)
 - 下北半島縦貫道路(供用中)
 - 下北半島縦貫道路(事業中)
 - 下北半島縦貫道路(計画)
 - 一般国道
 - 一般道
 - 主要地方道・一般道
 - 市町村道
- 【事業主体】
- 県事業
 - 市事業

【災害による通行止め】

- 東日本大震災による浸水・通行止め区間
- H24.2.1 大雪に伴う通行止め(区間)
- H24.4.1 大雪に伴う通行止め(箇所)

【津波浸水想定区域】

浸水深 25m

【事象】東日本大震災による津波被害



「この地図は、(一)野日本地図センターが作成した「25000 地形」地形画像を使用しています。」